

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



平素より大変お世話になって... 検査法に基づき鑑地検査を... 開始し、積極的な疫学調査やPCR検査を始めましたが、複数名の陽性が確認されたため、全乗客への船内個室管理を要請しました。

二月十日からは、現場での指揮に当たるため、橋本岳副大臣とともにクルーズ船内での活動を始めました。

JMAT、AMATの先生方には、二月十四〜二十日の間、約三千七百名の乗員・乗客に対し、下船に向けての要件となった医師による健康チェックの問診を行っていただきました。

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」対応について... 二月三日、クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港したことを受け



「ダイヤモンド・プリンセス号」での活動が無事終わり、下船前に撮影。ご尽力賜ったすべての皆さまに感謝の気持ちで一杯です

は、不眠や不安の訴えのほか、精神的に追い詰められるなど緊急の対応が必要なケースもあり、本当に助けていただきました。加えて感染症の専門家には、武漢からチャーター便が帰国して以降、助言やラウンドなど船内船外において支援をいただきました。



3月25日、「新型コロナウイルス感染症に関する全国知事会と厚生労働省との意見交換会」を開催しました



3月26日参議院予算委員会にて、新型コロナウイルス感染症について、妊婦の不安解消に向けた対応等について答弁しました

イルス感染症の患者だけでなく、他の疾患等をもつ患者への対応も勘案して地域医療提供体制全体で検討していく必要があります。

行政検査を行う機関である地域外来・検査センターの都道府県医師会・郡市区医師会等への運営委託等について



が入国制限措置や都市封鎖、入国後の行動制限措置などを取る中、わが国でも入国拒否や検査強化の対象地域を拡大するなど水際での抑え込みに全力を尽くしております。また、大規模イベントの自粛や一斉休校、テレワークの推進、手洗いや咳エチケットの啓発、いわゆる「三密」(換気が悪い密閉空間、多くの人が密集する場所、近距離での密接した会話)を避けるという対策を、国民の皆さまのご理解とご協力のもと進めて参りました。

このほかにも、厚生労働省では、特定健診等についても地域での感染状況を考慮して実施の必要性を改めて検討するよう保健者等に注意喚起することや、感染者を疑われる人が自宅療養する際のガイドラインの公表などを行っております。

国内対応について... 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、世界各国

医療提供体制について... 感染拡大防止策の推進と同時に、感染者数がピークを迎えた時の医療需要にこたえられる入院・外来医療提供体制の確保

また、四月十五日には厚生労働省の対策推進本部が



4月4日、藤田医科大学岡崎医療センターの開院式でテープカットをさせていただきました。同センターには、開院を延期して2月から「ダイヤモンド・プリンセス号」の患者を受け入れていただき、深く感謝申し上げます